

＜目標分野＞ ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化 ✓
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防 ✓
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

＜目標内容＞

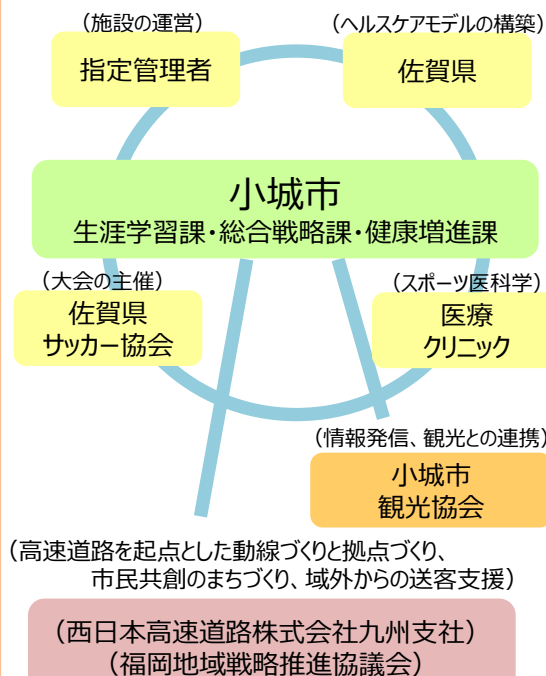
- 既存の保健福祉センター「アイル」と周辺施設の一体的な活用による拠点力の強化、交流人口の増加と賑わい創出
- ① サッカー場を整備し、アイルをクラブハウスとして周辺施設と一体的に活用した際の経済効果（令和元年度比で+505百万円）
 - ② アイルの市外利用者（令和元年度比で+9.1万人）
 - ③ 九州大会以上のサッカー大会誘致数（令和元年度比で+25大会）

＜PRポイント＞

【アイル資源磨き】 ～「健康」を理念とした「スポーツ」、「医療」、「温泉」の一体的活用による特色ある地域交流拠点へ～

天然温泉と温水プールを有する保健福祉センター「アイル」と隣接する都市公園牛津総合公園、周辺にある宿泊施設、医療機関等の地域資源を一体的に活用し、アイル周辺エリア全体の価値向上と機能強化を図る。

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜概要＞ 計画期間：～令和7年3月31日

＜現状・課題＞

- ・本市のスポーツ施設は多目的施設が大半で、交流人口拡大や地域活性化につながる公式大会が開催できる施設がない
- ・本市への来訪者は主にイベント開催時等に限られてしまっており、常時人を呼べるコンテンツが不足している
- ・本市へは日帰り客が大半を占め、宿泊者が少ない

＜総合的な取組内容＞

アイル周辺エリアを市民・スポーツ・観光の交流拠点として再整備し、誰もがスポーツを楽しみながら健康づくりができるまちへ

- ▶ アイルの隣接地に公式大会の開催要件を満たした人工芝2面のサッカーグラウンドを整備
- ▶ アイルをプールや天然温泉、クラブハウスの機能を有した保健福祉センターへリニューアル
- ▶ スポーツ×天然温泉×メディカルの連携によるこれまでにない先進的なヘルスケアモデルの構築

地方創生拠点整備交付金
JFAサッカー施設整備助成事業助成金を活用



サッカーグラウンド完成イメージ

- 賑わいの創出
- 交流人口の増加
- 域内消費の増加
- 健康増進・怪我予防
- 教育・生涯学習

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：教育委員会生涯学習課
- 地方スポーツ推進計画：小城市スポーツ推進計画 平成28年3月
- 地方版総合戦略：第2期まち・ひと・しごと創生小城市総合戦略 令和2年3月
- 地域スポーツコミッション：－
- ホストタウンの相手先：－

